

# Ultraviolet index is associated with childhood eczema prevalence: Sex and age differences

出典	Pediatric Allergy Immunology 2017;28(4):391-393 ( <a href="https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/28211092/">https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/28211092/</a> )
著者	Yoshida K et al.
調査地域	全国
調査時期	2008年4~7月
調査対象	6-7歳、13-14歳、16-17歳の小児
依頼数	179,218人
有効回答数 または回収率	83.4%
診断方法	日本語版 ISAAC
有症率	6-7歳 16.5% 13-14歳 10.8% 16-17歳 10.3%
調査概要	UV指数と小児湿疹の有病率の関連について性別と年齢の違いを加味して検証した論文。既報通りUV指数と小児湿疹の有病率は逆相関し、さらに年齢が小さいほど、また男児ほどより強い影響があると示唆された。